

中学校統合に関する協議内容について

教育委員会では、中学校統合アンケート調査結果に基づき、まず、各小中学校に設置されている学校運営協議会から中学校統合に係る協議を始めました。その協議を2月に行いましたので、内容をお知らせします。

1. 各小中学校学校運営協議会に対する説明会開催状況

2月18日～2月24日の間に町内5会場において開催し、出席委員数合計103人で出席率57・9%でした。(学校運営協議会は、平成16年6月の

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により設置された組織で、学校運営に地域の方や保護者が参加する仕組みです。)

2. 教育委員会からの説明の概要

説明会では、最初に、教育委員会からアンケート調査結果について説明し、その後、たたき台(案)を示しました。これは、たたき台(案)への賛同を求めているのではな

3. 説明会で出された意見

5地区の説明会で出された全ての意見を、賛成系・反対系・その他で分けると次のようになりまます。

(賛成系意見) 17件・(反対系意見) 11件・(その他) 17件
全体を通じての主な意見の概略は以下のとおりです。

▼賛成系意見

・人は人の中で育ちます。人数もクラスも多い方が良い。育つのは子どもであって大人ではない。
・統合の決まった学校は町の

生徒を全て引受けるのだから、全体を考えてしっかりいるんなことを考慮するような土台作りをしてほしい。
・統合して部活動を選択できるまでにして欲しい。
・学力をつけさせてあげるためにはどうしたらいいかという所に視点を当ててほしい。

▼反対系意見

・教育論のみでなく、人口減少とかもつと時代の背景を考慮すべきと思う。
・今後統合を進め地域から学校が無くなると、人口減の加速度が増すように思う。

【教育委員会のたたき台(案)】

- (1) 統合するのであれば、1校と考える。
- (2) 統合賛成系の意見では、統合校舎を久賀中校舎とする割合が、全ての調査対象者で最も多くなっているので、統合校舎は、久賀中校舎を想定する。
- (3) 中学校統合は平成29年4月1日にこだわらない。
- (4) 保護者や地域、学校の声を集約する場として、学校統合についてまず学校運営協議会で協議していただく。

協議して意見集約をお願いしたいことは、

- ①校区の子どもたちが、どのような子どもたちに育って欲しいのか。
- ②町内全体の子どもたちが、どのような子どもたちに育って欲しいのか。
- ③育って欲しいと願うように、子どもたちが育つには、どのような学校がよいのか。どのような学校規模がよいのか。
- ④教育委員会のたたき台(案)「中学校を統合するなら1校に」についてどう考えるか。
- ⑤統合賛成系の意見を踏まえて、統合校舎を久賀中校舎と想定することについてどう考えるか。
- ⑥統合するとしたら、時期はいつがよいのか。
- ⑦その他(提案等)

上記7項目について、平成28年11月を目途に各学校運営協議会での意見集約をお願いしました。

・1校案は絶対変わらないのか。通学格差を考えたなら2校案は考えられないのか。

▼その他

・11月まで教育委員会は何もしないのか。中学校のモデル案を模索し示すべきである。
・各学校運営協議会での協議の後に、素案を持ち寄り町全体で協議できる「場」を設定してほしい。

今後、この協議内容を踏まえた上で、教育委員会が中心となり町長や議会と協議しながら統合の進め方について検討してまいります。

■問い合わせ

教育委員会 総務課

☎08220(78)0700

